

ご質問・VEご提案・見積依頼 など、どのような件でもお気軽にお問い合わせ下さい。お待ちしております。



高知丸高

特殊基礎工事

新技術情報

第 14 号

平成19年6月

〒781-0014 高知県高知市薮野南町28番2号 TEL 088-845-1510 FAX 088-846-2641
[URL] <http://www.ko-marutaka.co.jp> [Email] marutaka@ceres.ocn.ne.jp

『東南アジア最大のマーケット釜山国際機械大展2007参加』

平成19年度こうち販路拡大チャレンジ事業費補助金援助展示』

最先端の機械と新技術の展示を通じて世界機械産業の発展を一目に見ることができる最先端技術と情報交流の場として世界の関連専門家と学会、業界、アメリカ、ドイツ、イタリア、日本、台湾が参与し中東、アフリカ、ヨーロッパ特に開発途上国インドの海外バイヤーの大規模な参加により、熱烈的な輸出入商談活動が行われた会場であった。

弊社は、簡易橋(SqCピア鋼管橋)・地滑り岩盤削孔杭打機(SS工法)・津波救助艇(救難まんぼう)を展示し、世界中の人々に弊社の製品を知ってもらうことが出来た。



展示会場: BEXCO

展示会名	釜山国際機械大展 2007
期間	2007.5.30(水)~6.3(日) 5日間
場所	釜山展示・コンベンションセンター(BEXCO)
規模	BEXCO屋内展示場、総1,500ブース
参加業社	25ヶ国500社
観覧客	100,000名
展示製品	SqCピア鋼管橋・SS工法・救難まんぼう

商談

日本 : 高知県土木部港湾振興課
小西繁雄主任・谷内康洋主幹
高知丸高グループ
高野社長・設計 市川斉司・海外営業 藤本明弘
韓国バイヤー: 釜山廣域市議會建設交通委員 李海東
KOREA FREEDOM LEAGUE YOUNG-JOO KIM
株式会社晟徳建設 金敬植
駐日本釜山市貿易事務所 姜炳勲 所長

SqCピア工法を大型橋梁(高速道)使用にはどうか?

SqCピア工法は山岳道橋を主体としておるが、レベル2地震動に対応した高速道路橋並みの耐久性を保持するB種の橋で、風速40m/s耐久、保持橋として設計しており可能であり積極的に営業展開を行う。

韓国では地震はないが大雨により増水、家屋が流出し、浸水により度々大きな被害が発生する。人命被害を極めて少なくするため救命まんぼうは必要。

安全性(耐衝撃性、耐浸水性、耐火性)に優れたシェルターとしてアピール。
家庭用(6人用)、集落用(20人~50人)を低価格で供給できる事に努力する。

終りに

展示会では救命まんぼうが関心を惹き、商社、造船・貿易会社の方々に多く来ていただき、率直な意見が聞けました。今後は、頂いた意見を参考に、まんぼう改良艇製作、コスト削減等を行っていきます。また、名刺を頂いた方々にはメール等で情報を交換し、海外との交流を深めようと思っております。

弊社を展示会に推薦していただいた高知県土木部港湾振興課、高知県産業振興センターの方々、本当にありがとうございました。今後も、国内・海外での展示会を積極的に参加していきますので、宜しくお願いします。

展示担当係 山本公平



『防災フェスタ in 中土佐 2007』

高知県総合防災訓練・地域防災フェスティバル



* 目的 *

この防災訓練は、災害対策基本法(昭和36年法律第223号)第48条の規定に基づき、大規模地震、豪雨等実際の災害を想定し、県、市町村及び各防災関係機関による実践的な応急対策とそれぞれの連携した訓練を実施することにより、総合的な防災体制の確立を図ります。

併せて、地域防災フェスティバルを開催し、住民の皆様を楽しみながら防災への意識を高めていただき、自主防災活動の推進や地域における防災意識の高揚を図ります。(計画書より)

6月3日(日)、高知県中土佐町久礼の久礼漁港にて高知県の防災訓練が行われました。実践的な訓練で、四国沖の南海トラフを震源としたマグニチュード8.4の巨大地震が発生したという設定の訓練でした。

東南海地震は100～150年間隔で発生しており、今後30年以内に発生する確率は50%であると言われています。地震が発生するとそれに連動して津波が発生する確率は高く、津波被害の危機感が高まっています。この防災訓練には、弊社から救難まんぼうと津波浸水避難施設を展示しました。今回は特に警察や消防、自衛隊の方々の関心が強く我々も驚きました。より多くの人に津波災害に対応することの重要性を知ってもらうことは重要なので、これからもこのような防災訓練等に参加していきます。



弊社開発製品の救難まんぼうは、津波災害に威力を発揮します。家屋に付設した避難施設となっているので、平常時は家屋の一部として使用できます。地震発生時に乗り込むことで、津波から命を守ることができます。もちろん火災対策に関しても、10分間火災中にいた場合でも中に影響はありませんし、散水装置を備え付けているため安全です。地震発生時に乗り込んだ後は、津波により流されても、推進機を備え付けていますので津波が治まれば自力で避難が可能となります。

一般家庭や小規模集会所などで、地形的に避難が困難な場所や、家族にお年寄りや障害者の方がおられる場合には大変有効な製品です。今後、実用化に向けて研究を進めていきます。



配信停止・変更・問い合わせはmarutaka@ceres.ocn.ne.jpまで連絡お願い申し上げます。